



今月は、口之津町であいさつ運動をされている「すくすく応援子隊」の紹介です。

ひまわりプランの学齢期では、目標のひとつに「家族と地域、みんなで子育てしよう」があります。

まさに、その活動を行っている団体の紹介です。

南島原市健康づくり計画

ひまわりプランだより No.11 

私たちはひまわりプランを応援します！

あう えん し たい
すくすく応援子隊！

口之津町で子どもたちにあいさつ運動を行っている「すくすく応援子隊」の紹介です。

「すくすく応援子隊」は、原田さんを代表とした会員15名の団体です。この会の発足は、口之津町母子保健計画の策定に関わった策定委員が主体となり、自分たちにできる運動として、平成16年3月から始まり、今年で5年目を迎えます。

会の活動は、月2回、早朝通学路に立っての小中学生へのあいさつ運動です。

月2回のうち1回が小学生、1回が中学生を対象に行われています。

「今日は遅いね」「いつもいっしょに来るあの子はどうしたの?」「気をつけて行ってらっしゃい」など、挨拶も「おはよう」だけではなく、子どもたちを気づかした声かけが行われています。

子どもたちもそれに答えるように元気な声であいさつをしています。

最近、「子どもたちが登校時以外の場所で、会員にあった時も自分からあいさつをしてくれるようになった。」「自分には孫はいないが、運動会は必ず見に行くようになった。」など、子どもたちや会員にも変化が表れています。

「自分たちは、子どもたちにエールを送りたい。今できることをできる人がやる、今できない人でも 数年後できるようになったら会に入りたい。」と代表者の原田さん。

「今後は、こま回しやあやとりなどの昔ながらの遊びの伝承を活動の一部にしたい」と抱負を語られました。

これからも地域で子どもたちの成長を見守り続けてください。



ひまわりプラン応援団体大募集！

★健康づくりに取り組んでいる団体の方、あなたの団体を紹介してみませんか？

■お問い合わせ
市民生活部
健康対策課 健康政策班
☎050-3381-5141

南島原警察署・南島原市防犯協会からのお知らせ

大人の無関心が子どもの非行につながります

家庭・学校・地域が一つになって子どもたちを見守りましょう。

家庭では…

- まず、子どもの話を聴きましょう。
- 「思いやり・人の痛み」を教えましょう。
- 「悪いことは悪い」と、しっかり教えましょう。
- 過干渉・過保護にならないようにしましょう。
- 子どもの手本となる生活をしましょう。

地域では…

- 「愛のひと声」をかけましょう。
- 環境浄化を図りましょう。
- 子どもに関心を持ちましょう。



「有馬の城・外交・祈り」～西欧外交の原点を求めて～
世界遺産暫定一覧表登録記念シンポジウム

2月9日(木)・10日(金)の2日間、ありえコレジヨホールで世界遺産暫定一覧表登録記念シンポジウムが開かれました。

昨年、南島原市の国指定史跡である「日野江城跡」「原城跡」「吉利支丹墓碑」が『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』としてユネスコの世界文化遺産暫定一覧表に登録され、キリスト教関連遺産についての理解を深め、世界遺産登録に向けて市民の意識の醸成を図ることを目的に開かれたものです。

講演に先立ち、聖歌隊「コルス・アンジェリクス」(北有馬町)によるラテン語のグレゴリオ聖歌と当時の楽器を使った演奏が披露されました。

2日目に、日野江・原城の発掘調査概要報告と千葉県八千代市教委職員の高屋麻里子さんが作成した、原城跡の本丸大手門(正門)付近のコンピュータグラフィックス復元イメージが公開されました。

第2部「島原・天草の乱を考える」では、「島原・天草の乱」をテーマに、服部英雄九州大学教授が「世界史」の観点から、千田嘉博奈良大学准教授が「原城攻防の現実」について、小島道裕国立歴史民族博物館准教授が「歴史的意義」を話されました。シンポジウムでは、「世界レベルの調査が今後も必要。多くの市民の応援が大切。」と呼び掛けました。



105年の歴史に幕
口加高校家政科閉科式



2月28日(木)、県立口加高校家政科の閉科式が行われ、105年の歴史に幕を下ろしました。

口加高校家政科は、明治35年に開校した私立口之津女子手芸学校が前身で、昭和2年県立口加高等女学校、昭和38年に家庭課程から現在の家政科に変わりました。式典では、最後の家政科生27人が、手作りの長着とはかま姿で在校生や卒業生、保護者750人に見守られながら入場しました。

家政科卒業生を代表して、久間キミさん(加津佐町)が在学当時の思い出と生徒へメッセージを話され、最後の家政科を代表し林亜弥さんが感謝の言葉を述べました。

式典後、手芸を象徴する針山をイメージした記念碑が除幕されました。

新年度から普通科内に生活創造コースが設置され、家政科の精神が引き継がれていきます。

第1回南島原市福祉大会
県民ボランティアのつどいin南島原



2月23日(木)、ありえコレジヨホールで、第1回の南島原市福祉大会と県民ボランティアのつどいが開催されました。この大会は、福祉関係機関・ボランティア団体や市民が集まり、社会福祉に対する理解と意識の高揚を図ることと、「つどい・ふれあい・ひろめ・つながる」をテーマに、県民ボランティアのつどいが引き続き開催されました。

宮崎県のきよたけ郷ハートムの初鹿野聡代表の「市民によるまちづくり～市民力で地域をかえる～」と題した講演と、「市民力でつくるまちづくりって何?」をテーマにフォーラムが行われました。市民からバリアフリープラネット代表梶原千秋さんと島原翔南高校西田知世さんとNPO大地といのちの会吉田俊道さん、長与町商工会事務局長福田英利さんが登壇し、それぞれの取り組みの紹介と梶原さんから今大会での要約筆記と手話通訳に感謝の言葉を述べられ、さらに、一般参加者を交えた「挨拶と感謝」についての熱心な意見交換が行われました。